

私立大学研究ブランディング事業
「エコ農業ブランディングによる発展的地域創成モデルの形成」
令和元年度研究中間報告

課題1 地域における課題分析：農業従事者の人口動態分析

担当者：末吉 秀二・濱島 敦博

■令和元年度（最終年度）の達成目標

農業経営および後継者に関するアンケート調査をもとに、後継者の有無に影響を及ぼす要因を明らかにする。

■令和元年度（最終年度）の進捗状況（9月末時点）

平成29年度に行った2つの農業集落を対象としたアンケート調査に加えて、平成30年度に1集落を追加調査した。得られた144戸のデータをもとに、後継者の有無による農業開始の時期、兼業/専業の別、農地の借入の有無、事業拡大の有無、および所有農地面積の違いを表1に示した。

表1. 後継者の有無と農業開始の時期、兼業/専業、農地の借入の有無、事業拡大の有無（N (%)）、および所有農地面積（平均±SD）

	有	無	有意水準
農業開始の時期			
曾祖父の代より前	39 (68.4)	47 (54.0)	
祖父の代	11 (19.3)	19 (21.8)	*
父の代	5 (8.8)	20 (23.0)	
自分の代	2 (3.5)	1 (1.1)	
兼業/専業の別			
兼業	15 (27.3)	42 (48.3)	**
専業	40 (72.7)	45 (51.7)	
農地の借入			
有	22 (39.3)	18 (22.2)	**
無	34 (60.7)	63 (77.8)	
事業拡大の予定			
有	2 (3.6)	3 (3.5)	—
無	53 (96.4)	83 (96.5)	
所有面積	8.8±3.9	7.0±7.4	**

**p<0.05. *p<0.1.

表2. 後継者の職業（N (%)）

農業	14 (25.9)
会社・役所	35 (64.8)
通学	3 (5.6)
その他	2 (3.7)

表3. 所有農地の処分（N (%)）

農家に売る	5 (2.4)
農家に貸す	24 (28.6)
営農組合に預ける	5 (6.0)
決めていない	51 (60.7)
その他	2 (2.4)

後継者が有の農家は無の農家に比べて、祖父の代以前に農業を始めた割合、専業の割合、および農地の借入の割合が有意に高く、所有農地面積も有意に広がった。また、後継者の現在の職業は、会社や役所に勤める者の割合が65%と高く、次いで現在農業に従事している者が26%であった（表2）。

後継者が無の農家における農業引退時の所有農地の処分先は、「決めていない」が60%であり、次いで「農家に貸す」が29%であった（表3）。

今後、多変量解析により後継者の有無に影響を及ぼす要因を同定する。加えて、表3に示したように、後継者が無の農家が所有する農地の処分動向を踏まえながら、南あわじの農業の将来を展望する。